

令和８年度 明第一地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 相模台町会

（件名） 地震時自動解錠システム導入の検討について

（具体内容）

多くの学校が避難場所に指定されていますが、現在の防災倉庫の鍵の管理体制では、災害発生時の初動対応の遅れが懸念されます。特に夜間や休日など管理者不在時には、必要な資機材を速やかに使用できず、避難所開設に支障をきたす可能性があります。災害時は迅速な初動対応が重要であり、体制整備は不可欠です。

他自治体では、一定の揺れを感知すると自動解錠される「地震解錠ボックス」の導入が進み、停電時でも避難所を早期開設できる仕組みとして活用されています。一方で、鍵が解錠されず対応が遅れた事例もあり、確実性の高い運用が求められます。

安全で円滑な避難所運営のため、同仕組みの導入を強く要望します。

（回答）

- ・避難所の備蓄倉庫の鍵につきましては、現在、キーボックスにより鍵を取り出せる体制を整備しております。

- ・原則として避難所直行職員や施設管理者において安全確認後、避難所の開設を行う運用としております。

- ・ご提案の「地震時自動解錠システム」については、千葉県内では富津市において一部導入されているほか、東京都稲城市でも運用されており、有効な手段の一つであると考えております。

- ・ただし、誤作動による不必要な解錠や、それに伴う資機材の盗難・いたずら等のリスク、また、導入・維持に係る費用負担が大きいといった課題もあるため、費用対効果などの慎重な検討が必要と認識しております。

- ・今後につきましては、既存の鍵の管理体制の課題解決を進めるとともに、他自治体の導入事例や効果・課題等を調査し、メリット・デメリットを踏まえたうえで、より確実かつ迅速な避難所開設体制のあり方について研究してまいります。

（回答課）危機管理課